

● 世界の主な地震

令和 8 年（2026 年）7 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

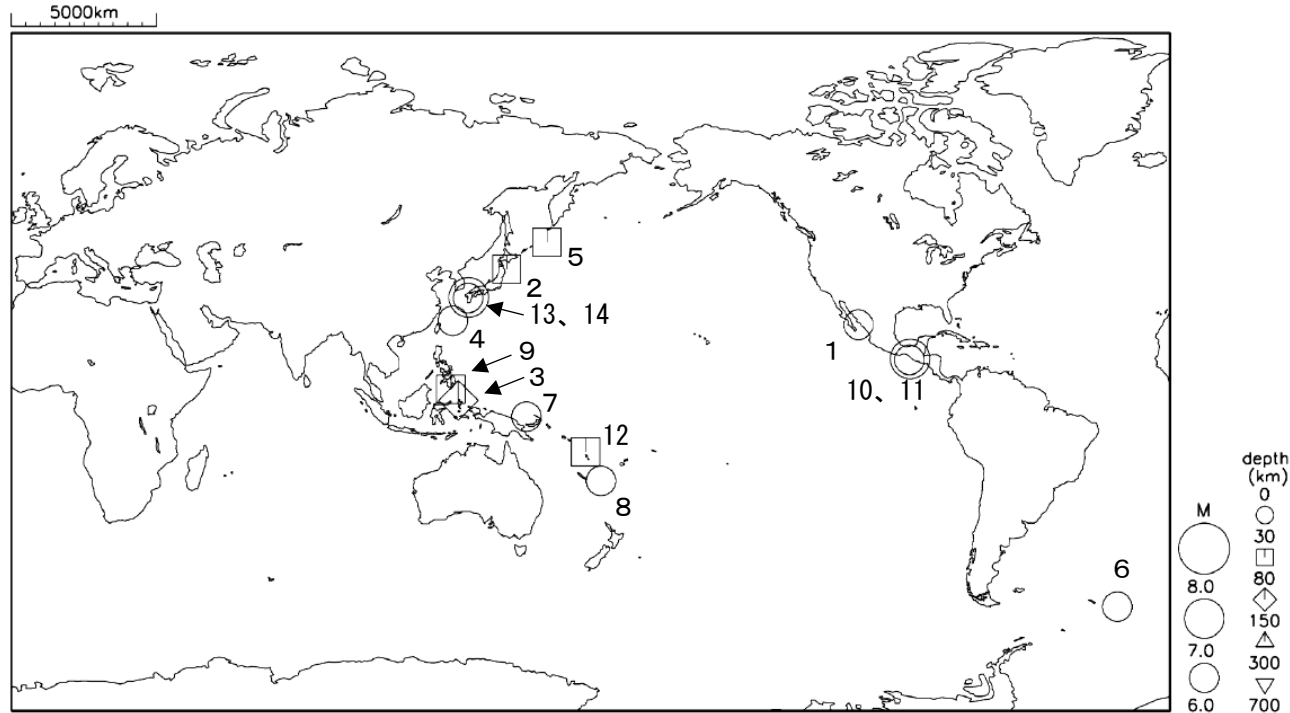


図 1 令和 8 年（2026 年）7 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表 1 令和 8 年（2026 年）7 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	07月01日04時45分	N24° 48.5′	W108° 53.4′	10			6.0	メキシコ、カリフォルニア湾			
2	07月01日21時08分	N40° 05.7′	E142° 27.2′	40		6.1	(6.0)	岩手県沖			
3	07月03日11時31分	N 1° 49.2′	E127° 29.4′	121			6.2	インドネシア、ハルマヘラ			
4	07月03日13時04分	N26° 9.3′	E125° 42.0′	16		6.5	(6.1)	宮古島北西沖			
5	07月03日17時22分	N47° 4.1′	E154° 54.2′	30		6.0	5.9	北西太平洋			
6	07月11日19時26分	S55° 32.0′	W 28° 54.6′	26			6.4	サウスサンドウィッチ諸島			
7	07月13日17時53分	S 3° 13.2′	E148° 31.3′	10			6.4	ビスマルク海			
8	07月13日23時45分	S22° 47.2′	E171° 33.2′	15			6.3	ローヤリティー諸島南東方			
9	07月15日00時49分	N 5° 19.3′	E125° 10.8′	46			6.2	フィリピン諸島、ミンダナオ			
10	07月17日23時48分	N14° 38.1′	W 92° 53.8′	22			7.3 _G	メキシコ、チアパス州沿岸	津波観測0.34m（サリナ・クルス）など		○
11	07月18日00時20分	N14° 18.4′	W93° 6.2′	10			6.4	メキシコ、チアパス州沿岸			
12	07月25日06時37分	S14° 1.2′	E166° 48.0′	45			6.0	バヌアツ諸島			
13	07月28日16時27分	N32° 37.5′	E130° 41.7′	16		7.1	(6.8)	熊本県熊本地方	死者39人、負傷者173人、		○
14	07月28日17時08分	N32° 25.1′	E130° 30.4′	ごく浅い		6.1	(5.7)	熊本県天草・芦北地方	住家全壊699棟など		

・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2026 年 8 月 7 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mw の欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMT による。

・2026 年 7 月 28 日の地震の被害状況は総務省消防庁による (2026 年 8 月 9 日 10 時 00 分現在)。

・地震発生時刻は日本時間 [日本時間＝協定世界時＋9 時間] である。

・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」 (<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。

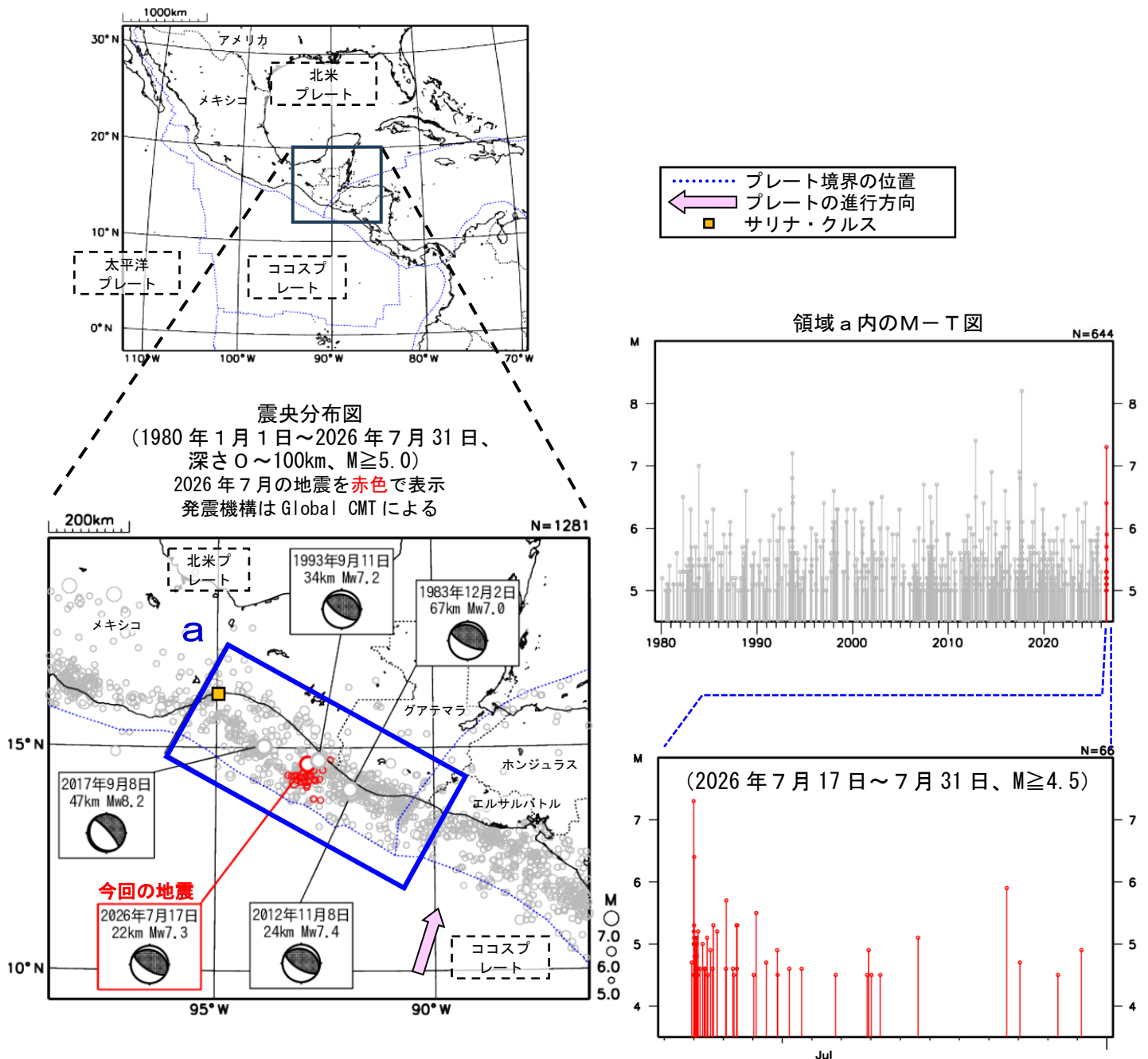
・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

・海外の津波の観測値は、米国海洋大気庁(NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration)による (2026 年 8 月 1 日現在)。

7月17日 メキシコ、チアパス州沿岸の地震

2026年7月17日23時48分（日本時間、以下同じ）にメキシコ、チアパス州沿岸の深さ22kmでMw7.3（MwはGlobal CMTによるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震は、発震機構（Global CMTによる）が北北東-南南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、ココスプレートと北米プレートの境界で発生した。気象庁はこの地震に対して、7月18日00時16分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。この地震により、サリナ・クルス（メキシコ）で0.34mなどの津波を観測した。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）ではM7.0以上の地震が時々発生している。2017年9月8日にはMw8.2（Global CMTによる）の地震が発生し、死者98人、負傷者250人などの被害が生じた。



※震源要素は、米国地質調査所(USGS)による(2026年8月1日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。津波の高さは米国海洋大気庁(NOAA)による(2026年8月1日現在)。地震の被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置とプレートの進行方向はBird(2003)^{*1}より引用。

^{*1}参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochimistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.